

# 青山士 ~パナマ運河の技術を生かす~

当時では珍しかったコンクリート工法を用い、岩淵水門を完成させました。

荒川上流部改修から  
**100**年  
1918-2018



旧岩淵水門（赤水門）



青山 士



信濃川の大河津分水 可動堰

## 青山 士

青山士（あおやま あきら）は、荒川放水路開削工事に従事した日本を代表する土木技術者の一人です。荒川放水路開削工事の中でも、旧岩淵水門工事では主任として活躍しました。

青山は、東京帝国大学工学部土木工学科を卒業後、当時、世界に大きな影響を及ぼした世界最大規模の土木事業であるパナマ運河建設に携わるため、単身渡米しました。渡米した青山は、8年間パナマ運河建設工事に携わり、最後は副技師長にまでなりました。帰国後は、1912（明治45）年に内務省土木局内務技師に任官し、パナマで学んだ技術を活かして荒川放水路開削工事に参加しました。

荒川放水路完成後は、1927（昭和2）年6月に陥没してしまった大河津分水路の自在堰の補修工事に新潟土木出張所長（現国土交通省北陸地方整備局長）として携わり、分水路の復旧に尽力しました（1927（昭和2）年～1934（昭和9）年）。大河津分水路の竣工記念碑には「人類ノ為メ國ノ為メ」と碑文を刻んでいます。

## ▶ 放水路工事の難所であった旧岩淵水門

青山士が設計・施工に尽力した岩淵水門は、現場の土質が軟弱であったことから、放水路工事の中でも難しいものの1つでした。その岩淵水門の基礎は、川底よりさらに20mの深さに鉄筋コンクリートの枠を12個埋めて固めてあります。当時「そこまで頑丈にする必要があるのか」という声もありましたが、青山は譲りませんでした。結果的に同水門は、1923（大正12）年の関東大震災にも被害を受けず完成に至りました。

その後、同水門は、新水門の改築によりその役割を終えましたが、文化的価値が重要視され、旧岩淵水門（赤水門）として存置されています。

新水門は、旧水門の老朽化等により1982（昭和57）年に改築されたもので、通称「青水門」と呼ばれており、地域のシンボリックな水門として親しまれています。

## ▶ パナマ運河建設に携わった唯一の日本人技師 青山士

パナマ運河の建設は、1881（明治14）年、フランスの企業家グループが万国両大洋間パナマ運河会社の設立、スエズ運河建設者レセップスの参加により始まります。工事は、延べ20万人を動員して進められましたが、予想を遥かに超える難工事、疫病等が原因で挫折し、1889（明治22）年運河会社は破産するに至りました。

1903（明治36）年、運河建設は米国に引き継がれ、徹底的な衛生管理と最新の工事技術を駆使し、3億7,500万ドルの巨費と10年の歳月を費やして、1914（大正3）年にパナマ運河が完成しました。

この世界的な運河建設に携わった唯一の日本人技師が、青山士です。1903（明治36）年当時26歳の青山は、東京帝国大学土木工学科卒業時に恩師廣井教授より米国がパナマ運河建設のために技術者を募集していることを聞き、教授に紹介状を書いてもらい、同年8月単身米国に渡航しました。翌年6月パナマに到着した青山は、初めは末端測量員（ポール持ち）として、熱帯ジャングルの中でマラリアに罹患し命を落としそうになりながらもチャグレス川周辺の測量を続けました。その後、大西洋側クリストバル港建設事業に参加し、ガツン閘門の側壁の設計にまで携わるようになります。パナマに来た当初は末端測量員でしたが、短期間の内に昇進を続け、測量技師補、測量技師、設計技師を経て最終的にガツン工区の副技師長となったのです。青山の手際よい測量の腕や勤勉さ、有能さはパナマ運河委員会からも高く評価されていました。

## コラム 青山士とキリスト教

青山とキリスト教との出会いは、22歳の時、一高の寄宿舎で同室だった友、浅野猶三郎のすすめで神田教育会館での内村鑑三の講演「日本の今日」を聞いて感銘を受け、内村に弟子入りしたことに始まります。

毎週日曜日午前、内村の講義後、新宿角筈にあった内村の自宅で開かれた聖書講読会に参加し熱心にキリスト教を学びました。

青山の人生のモットーは、“I wish to leave this world better than I was born.”（私がこの世を去るときには、生まれてきた時よりも良くして残したい）。

これは内村が「後世への最大遺物」の中で紹介したイギリスの天文学者ジョン・ハーシェルの言葉です。

広く世の為になる仕事を、と土木工学を一生の仕事とし、洪水が襲い疫病が蔓延るこの大地を少しでも良くして後世に残したいというのが、神から示された青山の使命でした。

## アクセス

旧岩淵水門（赤水門）

交通：南北線「赤羽岩淵駅」（3番出口）下車、徒歩約15分

南北線「志茂駅」（2番出口）下車、徒歩約15分

JR「赤羽駅」（東口）下車、徒歩約20分

JR「赤羽駅」（東口）下車、徒歩約1分、都バス王57「豊島5丁目団地」行からバスで「岩淵町」または「志茂2丁目」下車、徒歩約10分

住所：東京都北区志茂5-41-21先



旧岩淵水門（赤水門）

